

—令和3年度 第6回—
認知症高齢者グループホーム花水木 運営推進会議について

福島県沖 地震度6弱の地震 マグニチュード7.3 対応について
(R4.3.16 23:36)

(報告 赤井田)

夜間帯の地震発生。入居者の方全員ベッドから降りることなく地震に耐え、人的被害なし。
地震後の定期勉強会にて地震発生から感じたこと・今後の備えについて話し合い。

★夜間帯の為一人対応の夜勤者は利用者の安全確認に必死で、焦ってしまった。職員が駆け付けるまでは自分一人での対応。9名のひとりひとりが心配でホール・居室を行き来し何度も見て回った。まずは自分が落ち着かなければならぬと感じた。すぐに駆けつけてくれた金上社員寮の方、毛利代表がとても心強かった。

★駆けつけた職員はまず利用者の不安に寄り添うことが大切だと感じた。ベッドで休まれているから大丈夫ではなく、一人一人の不安や心の変化に気づかなければならないと思った。

★今回ライフラインに影響が出ず、連絡手段が途切れることなくスムーズに職員に連絡できた。また連絡より先にと駆けつけた職員も多くこれまでの地震の経験がより良い対応に繋がっている。

★市外からの職員は角田市に駆けつけるまで地震の被害を目の当たりにし危険な箇所がたくさんあった。また信号無視の車や、停電で信号が機能せずスピードを出している車とすれ違うこともあり駆けつける際自分が事故やけがに繋がらないよう焦らず行動することが大切だと感じた

★今回は大きな揺れが2回あり 主に台所の食器類が破損。床一面に散乱し被害も大きかった。ほとんどの職員が駆けつけ、直後から破損物等の片付けの対応が出来た。地震が頻回な時には全体をみて赤井田管理者の指示のもと、手際よく行動ができた。

★駆けつけた職員で役割分担し司令塔としてホールにスタッフが一人いることで情報共有と手順がスムーズにでき安心につながった。今後繰り返す災害時の基準が出来た。

★毛利代表の行動を見て利用者の心のケアを感じた。まず利用者に寄り添うこと。入居者の皆さんには認知症があることで状況が分からぬ事もあり混乱等の症状が出る事を考え目を離さず安心できるよう一人一人の心と行動を見守ることの大切さを感じた。

★後片付けや余震の備えができるよう状況をみて自然に役割分担が把握できればよいと思う。

《地震後の行動や体験から今後統一・備えたい事》

★揺れにより扉が開かなくなることを予測し地震時は各居室の扉を全開にする。避難も視野に入れ玄関・裏口（非常口）・ホールの掃き出し窓の合計4か所は開ける。

★危険箇所の見回りをする。今回ガス漏れの情報があったことから外の臭いを確認し灯油臭に気づき119番への連絡が繋がった。今回は灯油タンクのオーバーフローで給油口からあふれたことで済んだが地震の規模によっては破損等も考えられるため、スタッフで役割を分担し建物以外の外部の確認も行う。

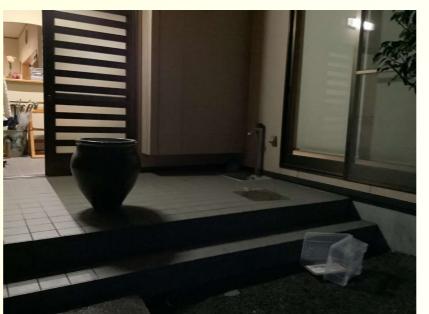
★断水に備えトイレに水を入れたペットボトルを置くようにする。

★災害発生時（特に夜間）は集まるスタッフの人数によるが落ち着いて役割分担（利用者対応・司令塔・内外部確認等）を決め対応する。

普段の玄関のかめの位置です…



→ 地震によりかめが1m移動。



夜間帯にすぐに消防の方が駆け付けて原因が判明し安心に繋がった。



グループホーム 花水木通信

(有)カナガミケアリンク No.211 令和4年4月10日発行

春の陽気に包まれ花水木の庭の木々も芽吹き始めました。ひとつ、またひとつと庭先へ出る楽しみが増え、季節の移ろいに心も会話も弾むこの頃です。「水仙がキレイだったよ～♪」「外はあつたかくなつたねえ♪気持ちがいいねえ」と散歩から帰って来た皆さんの笑顔はとてもいきいき、春を感じられた嬉しさが伝わってきます。爽やかな風と共に令和4年度もスタートしました。コロナ対策では、現在もご家族様には面会制限についてご理解とご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。ご不便をおかけ致しますが、一日も早い終息を願いコロナウイルスを乗り越えられるよう、スタッフ一同感染防止に努めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

春の種まき会

「こうやって蒔いていくんだ」とお手本を披露！綺麗な横一直線に植え
見た目も完璧でした！



収穫したスプラウトはサラダとスープに彩りを添えてくれました。とても柔らかく、採れたて野菜を美味しく頂きました！



先日、皆さんと植えたブロッコリースプラウトが見事に育ち「あら～！よくこんなに育ったない。」と感激のKさん。どんな料理になるのか楽しみですね♪



